

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和3年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「取組状態・自律度の状況把握シート」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍におけるまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言により、令和2年度以上に地域活動が制限された一年であったが、地域活動の再開に向けて、各地域及び関係諸団体へのアンケートやヒアリングを定期的実施するなど、地域の運営や活動を積極的に支援できている。

2 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点施策として、令和2年度に引き続き、コロナ禍における地域活動や地域活動協議会（以後、「地活協」という。）の組織運営に係る助言、指導、相談業務を地域づくりアドバイザーに取り組んでもらった。 ・ 特に、「東淀川区まちづくりフォーラム『Album～地活協の現在・過去・未来～』」は、地活協設立10年目に向けたこれまでの振り返りと、コロナ禍の活動紹介、現状を踏まえたこれからのまちづくりについてをテーマにしており、かつ24区唯一の開かれたフォーラムであり、東淀川区の地活協にとって有益な情報を提供できたと考えている。 ・ ただし、コロナ禍という情勢ではあるが、多くの地活協において、地活協を構成する団体以外との連携が進んでおらず、企業等連携を進めることについて、情報発信と場づくりが、繋がりの拡充のために必要な支援であり、引き続きの取組をお願いしたい。

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地活協の構成団体が、地活協に対する地域の実情やニーズに即

	<p>した地域づくりアドバイザーの支援が実施されていると思う割合 69.5% (令和2年度 69.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が地活協により自律的に進められている状態にあると思う割合 79.9% (令和2年度 81.5%)
--	---

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度と比較し、区役所主催の連絡会議やイベント等にオンライン参加される地域が増えたのは、地域づくりアドバイザーによる支援の成果である。 ・令和4年度も、引き続きオンラインをテーマとした地域支援をお願いしたい。 ・また、実地での地域活動も順次活動再開ができるよう、地域に寄り添った支援を行ってほしい。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。